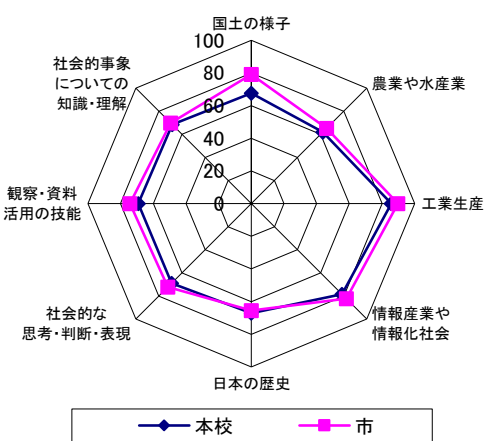


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	67.6	79.1	74.9
	農業や水産業	61.9	65.1	63.7
	工業生産	85.7	89.7	86.2
	情報産業や情報化社会	78.6	82.2	73.1
	日本の歴史	67.1	65.4	65.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	68.9	72.2	69.0
	観察・資料活用技能	69.2	74.3	69.2
	社会的事象についての知識・理解	68.5	69.9	69.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	平均正答率は、市の平均を12ポイント下回っている。 ○日本周辺の海洋名の正答率は90%と高い。 ●日本の国土については理解不足の児童が多く、正答率は28%と市の平均を30ポイント下回った。	・地図やグラフ、写真などの読み取りが不十分なので、教科書の本文を読む際に、資料から読み取れることを話し合う時間を設ける。
農業や水産業	平均正答率は、市の平均を3ポイント下回っている。 ○米作りの作業行程や作業時期についてはよく理解しており、市の平均を15ポイント以上上回っている。 ●日本と外国の農業の特徴の違いについての問題では正答率が28%であり、市の平均を9ポイント下回っている。	・日本、外国のそれぞれの農業の特徴や、日本と外国の農業の違いは何かを考えさせるなど、思考を伴った学習を行うようにする。
工業生産	平均正答率は、市の平均を4ポイント下回っている。 ●工業製品の種類についての問題や、生産者の工夫や努力についての問題において、市の平均を5ポイント下回った。	・工業製品の種類についての知識、優れた製品を生産するため努力についての資料を読み取ることができない児童がいた。身近な工業製品の種類について話題にしたり、資料の読み取り方のポイントについて確認したりする。
情報産業や情報化社会	平均正答率は、市の平均を4ポイント下回っている。 ○●マスメディアの種類については市の平均正答率とほぼ同じであるが、医療での情報ネットワークの利便性についての問題では、正答率が71%と市の平均を7ポイント下回った。	・資料をよく読み、資料を通して、ポイントはどこなのかを考えながら読み取り、大切な部分には下線などを引き、意識して読み取っていくよう助言する。
日本の歴史	平均正答率は、市の平均を2ポイント上回っている。 ○明治・大正時代については正答率が高く、文明開化についての問題では、正答率が市の平均を18ポイント上回った。 ●安土桃山・江戸時代については、全体的に正答率が市の平均を下回った。鎖国や浮世絵など、江戸時代に関する問題では、市の平均を7～9ポイント下回った。	・時代ごとの特徴的な物事や人物をまとめる活動を通して、各時代への理解を深める。